

食肉センター食肉市場特別会計

平成 16 年度決算状況

歳 入	決 算 額	歳 出	決 算 額
1. 事業収入	83,548,112 円	1. 業務費	431,998,941 円
2. 県支出金	46,629,000 円	2. 公債費	49,041,558 円
3. 繰入金	258,271,000 円	3. 予備費	0 円
4. 繰越金	10,962,020 円		
5. 諸収入	34,132,902 円		
6. 市債	59,100,000 円		
合 計	492,643,034 円	合 計	481,040,499 円
		収 支	11,602,535 円

歳入

款 1 事業収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
81,487,000 円	83,548,112 円	83,548,112 円	2,061,112 円

事業収入は、当特別会計の自主財源となっています。昨年度と比較して、と畜頭数に連動した食肉センター使用料、取扱高に連動した卸売業者市場使用料ともに牛は減額、豚は大幅に増額となりました。

項 目	金 額 (円)	備 考
食肉センター使用料	61,143,809	
牛	7,646,100	2,100 円 / 頭
豚	53,497,709	577 円 / 頭
食肉市場使用料	22,404,303	
冷蔵庫使用料	11,818,800	1,050 円 / m ² / 月
卸売業者市場使用料 (牛)	1,663,328	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者市場使用料 (豚)	5,941,735	取扱高 × 2 / 1,000
卸売業者売場使用料	189,000	210 円 / m ² / 月
事務所使用料	2,789,640	315 円 / m ² / 月
敷地占用料	1,800	電柱 1 本、支線 1 条

款2 県支出金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
46,650,000 円	46,629,000 円	46,629,000 円	21,000 円

集荷対策及び施設整備に対する県補助金
市場機能強化対策事業費補助金
食肉処理施設再整備事業費補助金

41,379,000 円
5,250,000 円

款3 繰入金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
258,271,000 円	258,271,000 円	258,271,000 円	0 円

繰入金は、一般会計から予算全額を繰り入れました。

款4 繰越金

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
10,962,000 円	10,962,020 円	10,962,020 円	20 円

款5 諸収入

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
34,862,000 円	34,132,902 円	34,132,902 円	729,098 円

施設利用者からの実費弁償金等であり、収入減の主なものは私用電気使用料の 527,877 円減です。

項 目	金 額 (円)
金融機関預金利子	1,187
私用電気使用料	21,251,123
私用水道使用料	3,278,847
私用下水道使用料	3,890,002
私用ガス使用料	92,497
食肉市場整備事業費	1,975,432
消費税還付金	3,611,577
その他雑入	32,237

款6 市債

予算現額	調定額	収入済額	予算現額との比較
59,100,000 円	59,100,000 円	59,100,000 円	0 円

食肉センター・食肉市場の施設整備に対する事業資金です。

歳出

款 1 業務費
 項 1 業務費
 目 1 業務費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
441,690,000 円	431,998,941 円		9,691,059 円

〔一般職給〕 31,649,998 円

目的	効率的な施設の実現				
指標 (15年度)	機器のトラブル回数 (作業ストップ回数)	目標	牛 12 回 / 100 頭 豚 5 回 / 100 頭 (25 回)	実績	牛 12 回 / 100 頭 豚 3 回 / 100 頭 (35 回)
説明	<p>消費者に安全で安心な食肉を供給し、安全性の確保された衛生的かつ効率的な作業環境を築くため、施設・設備の整備及び保守点検、修繕等を実施するとともに、(株)三重県四日市畜産公社に施設・設備等の運転、整備業務等を委託しました。専門メーカー外注による機器点検と畜産公社の日々の施設保守管理を組み合わせ、内容を精査して施設保守を行わせることにより、機器のトラブル回数が減少するとともに施設維持管理経費の節減を図りました。</p> <p>今後、目標を達成するため、老朽設備を更新し、今回改良した設備監視システムを最大限に活用するとともに畜産公社の施設管理体制を強化し、効率的な施設の実現を目指していきます。</p>				

〔施設維持管理費〕 62,693,287 円 (その他特財 35,341,755 円)
 〔食肉センター食肉市場業務委託費〕 71,964,000 円 (その他特財 61,143,809 円)
 〔施設整備事業費〕 80,649,460 円 (市債 59,100,000 円)
 (その他特財 3,611,577 円)

施設整備事業内容	実施額(円)
高低圧電気設備更新工事(その他電気設備工事含む) S53~55 にかけて新設された電気設備の老朽更新(機械室・資材庫を第2変電室に改修するとともに、新規変電・配電盤等の設置)他。	40,197,150
汚水処理設備老朽更新工事(附帯工事含む) S54 に整備された汚水処理設備の老朽更新(粗荒目スクリーン、揚水等ポンプ、曝気ブロー、調整ブロー、脱水機用ベリコン等取替)。	19,572,000
トレーサビリティ対応機器整備 食品の安全・安心確保のためのトレーサビリティに対応できる機器を整備した(枝肉ラベル及び部分肉ラベル発行システムを導入)。	5,108,460
設備監視システム改良工事 当施設の冷蔵庫、と畜ライン等の主要設備の運転データを蓄積、管理することにより、的確な施設管理の実現を図る(警報メール自動配信機能、監視トレンドグラフ機能の増強、高速サブリング機能の追加等)。	9,680,685
豚追込補助装置改修工事 豚けい留所利用者の安全性を確保するための改修整備(チェーン式駆動装置他)。	3,864,000
と畜用備品等導入 高圧洗浄機、豚用背割鋸	2,227,165

目的	市場上場頭数を増やす						
指標	遠隔地出荷奨励	目標	牛	800 頭	実績	牛	289 頭 (15年度 420 頭)
			豚	20,000 頭		豚	44,900 頭 (15年度 24,155 頭)
	牛上場奨励		牛	2,000 頭		牛	808 頭 (15年度 1,124 頭)
	豚出荷新規開拓		豚	5,000 頭		豚	19,716 頭 (15年度 3,354 頭)
コスト					コスト	4,000 円/頭 (15年度 5,000 円/頭)	
					コスト	200 円/頭 (15年度 500 円/頭)	
					コスト	5,000 円/頭 (15年度 5,671 円/頭)	
					コスト	200 円/頭 (15年度 200 円/頭)	
説明	<p>食肉市場において、肉畜の円滑な流通と適正な価格形成を確保するため、卸売会社である(株)三重県四日市畜産公社を通じて、集荷及び販売対策事業を実施して市場運営の健全化を図りました。豚については、大口出荷者の開拓・確保等により、目標を大幅に上回る成果を上げることができました。牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合により上場頭数が大幅に減少する結果となりました。総取引金額では、3.8 億円と昨年度の 3.1 億円を大きく上回りました。</p> <p>今後、増加した豚取引の確保と特に牛の上場頭数増加を実現するため、事業実施主体の応分の負担も含めて、より効果のある集出荷対策の実施を目指していきます。</p> <p>また、牛肉安全性確保対策事業 3,924 千円については、当施設で B S E が確認されなかったため、不執行でした。</p>						

〔市場機能強化対策事業費補助金〕 79,959,000 円 (県支出金 41,379,000 円)

食肉センタ - 業務について

本年度の開場日数は 241 日で、食肉センターの使用状況は下表のとおりとなりました。牛については全国的な出荷頭数減及び他施設との競合の影響を受け、前年度より減少し、より積極的な集荷活動が必要になっています。豚については大口飼養農家出荷確保の結果、前年度より大幅に増加しました。

・食肉センタ - 使用状況

区 分	牛	豚	馬	子 牛	めん羊	計
本年度計画頭数(頭)	4,500	64,000	0	0	0	68,500
本年度と畜頭数(頭) (前年度 ")	3,641 (4,094)	92,714 (70,215)	0 (1)	3 (1)	0 (0)	96,358 (74,311)
本年度使用料(円) (前年度 ")	7,646,100 (8,597,400)	53,495,978 (40,514,055)	0 (2,100)	1,731 (577)	0 (0)	61,143,809 (49,114,132)
前年度対比(%)	88.9	132.0	0	300.0	-	124.5

食肉市場業務について

本年度の食肉取引状況は下表のとおりで、牛については、全国的な出荷頭数減及び他市場との競合の影響等を受け、取引頭数が減少しました。また、取引単価は品薄感から年間を通じ堅調に推移しました。

一方、豚については、大口出荷者の確保等により、取引頭数が大幅に増加するとともに、取引単価も年間を通じ堅調に推移したことにより、年間取引金額が大幅増となりました。

総取引金額では、対前年比 122.4%という結果になりました。

なお、上場率(取引頭数/と畜頭数)については、牛 29.1%、豚 98.9%となっています。

今後、増頭した豚の取引頭数の確保と減頭した牛の取引頭数を増加させるための積極的な集荷活動が必要となっています。

・食肉取引状況

区 分		取引成立頭数	取 引 重 量	取 引 金 額	平均単価
牛	本年度計画	1,500 頭	600,000.0kg	960,000,000 円	1,600 円 / kg
	本年度実績 (前年度)	1,060 (1,526)	421,128.7 (603,166.6)	831,666,024 (1,057,001,144)	1,975 (1,752)
	前年度対比(%)	69.5	69.8	78.7	112.7
豚	本年度計画	61,200	4,590,000.0	1,744,200,000	380
	本年度実績 (前年度)	91,697 (68,535)	6,919,401.0 (5,224,162.8)	2,970,868,308 (2,049,858,198)	429 (392)
	前年度対比(%)	133.8	132.4	144.9	109.4
計	本年度実績 (前年度)	92,757 (70,061)	7,340,529.7 (5,827,329.4)	3,802,534,332 (3,106,859,342)	- -
	前年度対比(%)	132.4	126.0	122.4	-

〔一般経費〕 105,073,196 円 (その他特財 28,545,893 円)
 〔全国食肉市場長連絡協議会負担金〕 10,000 円

款 2 公債費

項 1 公債費

目 1 元金

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
18,949,000 円	18,948,544 円		456 円

〔農林水産業債償還金〕 18,948,544 円

目 2 利子

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
30,193,000 円	30,093,014 円		99,986 円

〔農林水産業債利子〕 30,092,311 円 (県支出金 5,250,000 円)
 〔一時借入金利子〕 703 円

款 3 予備費

項 1 予備費

目 1 予備費

予算現額	支出済額	翌年度繰越額	不用額
500,000 円	0 円		500,000 円